

On your side

3

令和 4 年度 (2022 年度)
子ども主体の授業づくり②
(中堅教諭等資質向上研修)

<https://toyono-jinikyoo.com/>

第 3 回 10 年経験者研修は、8 月 3 日小学校班・4 日中学校班の校種ごとに、大阪教育大学附属池田小・中学校を会場にしての初任者研修との合同実施でした (通称・コラボ研修)。この日にむけて、初任者の先生方は模擬授業 (小学校班は算数、中学校班はそれぞれの教科で) の準備を進めてきました。当日は少し緊張気味でしたが、10 年研の先生方の司会進行や指導・助言によって和やかな雰囲気で開催していました。今回の研修は 10 年研第 1・2 回の講義や演習・交流で学んだ「ミドルリーダーとしての役割」の実践編として貴重な機会となりました。

振り返りシートもコラボ! ~ 初任者の振り返りシートより ~

同じ教科の先生方とお話できて、とてもありがたい機会でした。悩みや困っていることを 10 年目の先生方が相談に乗ってくださり、いろいろとヒントになることを聞いてよかったです。

とても緊張しましたが、10 年研の先生方がとてもあたたかくてリラックスしておこなうことができました。課題はまだ山積みで不完全ではありますが、自分が武器にするべきところも分かったので、課題もクリアしながら自分の強みをいかした授業をすることができるようにしていきたいです。

模擬授業をする前はすごく緊張しましたが、10 年研の 3 人の先生方は雰囲気がとても優しく話しやすい方々でした。やっぱり子どもに対しても同じで、やわらかい雰囲気は大切だと思いました。

10 年目の先生が他の初任者の先生方にアドバイスされていたこともどんどん取り入れて実践していきたいと思いました。算数以外の授業でもできることをたくさん教わることができました。

10 年目の先生方のアドバイスは、どれも「なるほど」と思えるものばかりで、伝え方も学べるがたくさんありました。自分も 10 年目には今回出会った先生方のようになるぞという気持ちになりました。

10 年目の先生に見ていただき、指導していただけてうれしかったです。これまで 1 学期にやってきたことを褒めていただけて、今後もそこを意識して準備していきたいと思いました。また、自分がやりたいことをとにかくやってみる・チャレンジすることが大切だという言葉聞き、どんどんいろいろなことに挑戦していきたいです。

10 年目の先生から貴重な意見をいただけて、学習規律や発問など意識して取り組んでいきたいです。また、2 学期にむけてだけでなく、教師として大切なことも一緒に学びました。

模擬授業はとても緊張しましたが、コラボ研修に参加できたことが大きな自信と学びになりました。

まさに第 2 回の講義内容「コーチングの K S Q (傾聴・承認・質問)」の成果が発揮された機会でしたね。これまでの初任者研修では、コラボ研修にむけての説明はもちろん、学習指導要領や指導技術についての解説、UD の視点での授業づくりや子ども理解、さらには指導案作成についての解説や、実際に指導案を作成し、教材研究をする演習も含めた講義を実施してきました。感想からも 10 年研の先生方が誠意をもって応えてくれたことで、たくさんの気づきと学びを得ることができて充実したようすが伝わってきました。



~ ここからは、10 年研の振り返りシートより抜粋 ~

コーチングをするにあたって、授業者が何を求めているかを考えて、より具体的に助言をしないと相手の心に残らないと実感しました。果たして実りのある時間になったのだろうかと不安になりましたが、これはこれで自分の学びになっていると思います。学校に戻ってこういう経験を積み重ねていきたいです。

1人で教材研究をしていると行き詰ったり偏ってしまったりすることがあると思いますが、今回のように何人か集まって教材を相談できるのはヒントや気づきをもらえてとてもいいなと改めて感じました。学校に戻っても、このように**少しの時間でも教材や授業について語り合う時間を大切に取っていきたいと思いました。**

この日にむけて、初任の先生方はたくさんの時間を使って準備されたことがしっかり伝わってきました。**私自身も指導案を事前に読み、自分だったらどう授業をするかを考えて、助言の準備をしました。**お互いに準備してきたからこそ、いろいろな意見が出たと思います。学習の評価をどうしていくか、この教材でどういう力を生徒たちに身につけさせたいのかなど、模擬授業や協議を通して改めて教材研究の大切さを感じました。

初任者の方が「こうした方がいいかな」、「こうした方がよかったかな」と迷う姿は、かつての自分の姿と重なり、**まるで昔の自分にアドバイスをするように、私が言ってほしかったことを伝えることもありました。**私自身もまだ10年しか経験していないので、もっといろいろなことを学び、取り入れていきたいと思いました。

経験年数を問わず、みんなで学ぶことっていいなと心から思いました。普段はなかなか授業について話し合う機会がないので、所属校でもあるといいなと思いました。また、初任者の方にたくさんの悩みがあることを知りました。**私の学校にいる初任者には自分から積極的に声かけをしていきたいと思います。**

初任者の先生方の授業に助言をするにあたり、どういうところを見ればよいかという視点を10年目の先生と共有することができて勉強になりました。ICTの活用など、自分が初任者のときよりも今の初任者の先生方の授業にはレパートリーがたくさんあって私も勉強になりました。今の新しい情報や知識を得ていく必要性を感じました。新しい引き出しを作るためにも10年目研修に限らず研修を受けていこうと思いました。

私自身、10年の経験の中で授業がマンネリ化したり、大きく変化することを嫌がったりしていましたが、**初任の先生方の工夫やがんばりを目の当たりにして2学期から頑張ろうと思うことができました。**

これらの振り返りは、まさにコラボ研修のねらい・意図するところだと思います。初任者と一緒になって授業づくりや教材、子どもたちのことを話し合うことをきっかけに、改めて10年の経験におごることなくこれからも学び続けることを大切にしてほしいです。1回の研修で理解することや習得することはあり得ません。研修はあくまでもきっかけにすぎず、授業や子どもたちと向き合う日々の実践と行き来しながら理解を深めていくものです。これは、経験年数に関係なく言えることです。紹介した10年研の先生方の記述はほんの一部ですが、ぜひご自身が今感じているミドルリーダーとしての姿・役割を、今後も所属校等で担ってほしいです。引き続き、毎回の研修受講をきっかけに、**自分なりのミドルリーダー像、ミドルリーダーとしての役割**を考えてみましょう。



(研修担当、こぼれ話)

ほめられるとうれしいのは、大人も子どもも同じですね。それと同様に、はっきり指摘してもらえることも大変貴重なことです。共通して言えるのは、「**気にかける**」ということであって、「自分のことを気にかけてくれている」ことが伝わるからうれしくなるのです。みなさんにも、ささいなことで先輩に声をかけてもらったり、先輩とほんの少しの時間でも子どもの話や授業の話ができたりして、うれしかった経験があるはずです。さて、みなさんは初任者のときに「先輩に話を聞いてもらいたい派」でしたか？それとも、「先輩の話を知りたい派」でしたか？この機会に自分なりの関わり方を考えてみてください。

お知らせ (今後の研修受講について)

3市2町合同で実施する研修(共通研修)は次回が最終回です。事前課題として「研修成果レポート」(*「研修の手引」P. 17~18の【様式6】)を作成し、事前に各市町が定める期日までに管理職の先生を通じて提出してください。また、選択研修の相互交流研修一覧については協議会ホームページに掲載・随時更新をしています。<https://toyono-jinjikyoo.com> 受講の際にご確認ください。年度末の「研修実施報告書」(*「研修の手引」P. 13~15の【様式4】)の作成・提出にむけて計画的に受講を進めましょう。